

東須磨の家

～小さなエネルギーで快適に住もうために～

2017.04.

「断熱の良い、夏涼しく冬温かい、ランニングコストの少ない家を建てたいと考えています」
住まい手となる建築主から初めにいただいたこの言葉から、住まいの計画は始まりました。
断熱性能や設備機器の選択はもちろんのこと、季節ごとに変化する太陽の動き、朝夕で変化する風の向き、などを確認し、一つ一つご相談しながら設計は進みました。

春に始まるこの住まいでの暮らしは、猛暑や氷点下の日も、さほど大きなエネルギーを費やすことなく快適に過ごせるはず。季節ごとに工夫することでどこまで省エネルギーを極めることができるのか…。住まい手のご家族には、是非楽しみながらトライしていただきたいと思います。設計させていただいた私自身も、とても楽しみにしています。

アトリエ空一級建築士事務所 澤木久美子

日射遮蔽シミュレーション



夏(7月22日午後1時半): 出幅500mmほどの軒や庇があればここまで日射を遮ることができます



冬(1月22日午後1時半): 高度の低い冬の日差しは、軒や庇があってもしっかり取り込むことができます

省エネルギー要素 概要

断熱材: セルローズファイバー充填
高性能硬質ウレタンフォーム(基礎周り)
開口部: アルミ・樹脂複合サッシ
(Low-E 複層ガラス)
外付けブラインド(2階西窓)
太陽光発電: 4.41Kw
太陽熱給湯システム: 集熱面積 4㎡
換気: 熱交換型 (床下設置)
暖房: エアコン1台(床下設置)・ペレットストーブ
冷房: エアコン1台(2階ホール設置)

建物性能

長期優良住宅(耐震等級2)
断熱: U_a 値(外皮平均熱貫流率) 0.54
日射遮蔽: η_a 値(夏期平均日射熱取得率) 1.7
仕上げ
屋根: ガルバリウムカラー鋼板 横葺
外壁: ガルバリウムカラー鋼板 角波(Kスパン)
そとん壁、焼き杉板張り
開口部: アルミ樹脂複合サッシ
内装 床: 1F=ウォルナット、2F=杉 無垢材
壁: 土佐和紙、一部エスタコウォール